

(学年) 第1学年、(教科・科目) HR 活動・人権教育

一斉学習

(本時のねらい)

感染症に関する差別的な行動の背景に強い不安や恐れあるということを理解させ、偏見や差別的な言動に同調せず、不確かな情報に惑わされることのないよう、相手の立場や気持ちに寄り添い互いの人権を尊重する態度を養う。

(ICT 活用方法)

授業支援クラウドアプリの氏名非表示機能を活用することで、生徒たちが自由に意見や考えを記入することができるような環境を整える。また、グループメンバーで一斉に発表資料の作成を行えることや、生徒一人一台端末上にクラスでまとめた資料が残るため振り返り学習にも効果的であると考え活用する。

本時の展開

時間	学習活動	指導事項	ICT 活用方法
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習内容について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の目標、学習内容について説明する。</li> </ul>	
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症に関して、特定の人への不当な差別や誹謗中傷、いじめの例をニュースなどを基に取りあげ振り返る。</li> <li>・法務省ホームページのコロナ差別に関する動画を3事例視聴する。</li> <li>・動画を視聴して感じたことを授業支援クラウドアプリに記入し、自分の意見を発表するとともに他の生徒の意見を聴く。</li> <li>・このような人権侵害は</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス全員で共有させる。</li> <li>・動画を視聴し、目に見えない未知のウイルスは人の心に強い不安や恐れを抱かせ、無自覚のままに差別が生み出されることに気付かせる。</li> <li>・動画を視聴して感じたことを個人で記入させ、他の生徒がどのような意見をもっているか共有させる。その時、異なる意見を尊重させる態度を養う。</li> <li>・感染症による人権侵害</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板を使用し投影する。</li> <li>・電子黒板を使用し投影する。</li> <li>・授業支援クラウドアプリの個別学習ページで意見を記入させ、名前は非表示設定にする。</li> <li>・電子黒板を使用し「も</li> </ul>

	<p>今回初めて起こるものではないことを、「もののけ姫」のらい病患者のシーンを通じて理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症に関する差別などの問題が繰り返されないために、自分たちにできることは何かを考え、授業支援クラウドアプリに記入し、グループで話し合い、発表する。</li> </ul>	<p>が繰り返されたのはなぜか考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業支援クラウドアプリのワークシートにグループ内で話し合った内容を簡潔に記載させる。</li> </ul>	<p>ののけ姫」の該当シーンを投影する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あらかじめグループ設定を授業支援クラウドアプリ上でしておき、意見交換をさせる。</li> </ul>
<p>まとめ 5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のまとめを聞き、振り返りを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の内容を振り返らせる。</li> </ul>	

(授業の様子)



①電子黒板に投影したスライド



②グループワークのスライド

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

授業支援クラウドアプリに意見を記入するよう指示をすると、ほとんどの生徒が速やかに入力することができていたが、発表するよう促すと一気に動作を止め、様子を伺っている様子がみられた。その後、名前を非表示にして意見を紹介させてもらってよいかと問うと大きく頷き反応を返してくれた。人前で挙手して発表することへの抵抗が強い生徒がいることを再確認するとともに、安心してすべての生徒が自分の意見を表現できるような場を整えていくことの必要性を感じた。

また、指示通りに動くだけではなく、それぞれが主体的に活動意欲を持ち、自らが学びたいという意欲を持つことができるような働きかけが重要である。

発表スライドのまとめ方を事前にもっと明確に説明しておくことで、見やすく分かりやすい資料になるということが改善点としてあげられる。